



## 高橋 宏明

一般社団法人東北経済連合会 会長

### 「東北の魅力」をみんなでPRしましょう

今からおよそ140年ほど前、明治維新の激動冷めやらぬ明治11(1878)年に、一人の英国人女性が「ほんとうの日本の姿を見るため」に東北の地を旅しました。彼女の名は、「イザベラ・バード(1831-1904)」。同年6月から9月にかけて、東京を起点に、会津から新潟に抜け、そして山形、秋田、青森と北上し、北海道へ渡りました。行く先々で郷里の妹に手紙をつづり、その記録をもとに1880(明治13)年に出版されたのが「日本奥地紀行」です。

「米沢の平野は、(中略)豊穰にして微笑む大地であり、アジアのアルカディア(理想郷)である」。険しい峠を幾つも越え、夏の陽を浴びて輝く米沢盆地を眼前に、バード女史が記したこの一文は大変有名です。さらに彼女は、東北各地の自然の風景や東北人の心の優しさ、勤勉さ、礼儀正しさ、家族愛などにも感銘を受けています。本書は、出版後1カ月でたちまち3版を重ねるほどの人気を博しました。まさに、東北の魅力をいち早く西洋社会に紹介した先駆けの書と言えるでしょう。

さて今年、5月から10月にかけて「2015年ミラノ国際博覧会」が開催されます。「地球に食料を、生命にエネルギーを」を基本テーマに、世界147カ国・地域から約2,000万人が集います。

言わば、人間にとって欠かせない「食」をテーマにした博覧会で、当会も7月24日から27日までの4日間、岩手県、宮城県、石巻市と共同で参加します。その狙いは、4年前の東日本大震災で多くの国々からいただいたご支援・ご協力に対する御礼と、東北の優れた食文化を海外の皆様を知っていただくことにあります。豊かで、おいしい東北の食材は、きっと海外でも多くの方々を魅了することでしょう。

国際舞台の場とえば、今年3月14日から18日まで、「第3回国連防災世界会議」が仙台市で開催され、海外から多くのお客様を迎えます。さらに、5月にはいわき市で「第7回太平洋・島サミット」が予定されています。

このような機会などを通して、私どもは、東北の魅力を海外に積極的にPRし、観光インバウンド(海外からの旅行者)の拡大や地域産品の海外展開に弾みをつけたいと考えています。みんなで頑張っていきたいですね。

(東北電力株式会社 取締役会長・たかはし ひろあき)